



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 三共生興株式会社
 コード番号 8018
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 2020年2月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>
 (氏名) 川崎 賢 祥
 (氏名) 下 川 浩 一 (TEL) (06)6268-5188
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,105	△10.5	1,495	△19.0	1,984	△16.6	3,629	100.8
2019年3月期第3四半期	20,225	△4.4	1,845	△6.4	2,379	△1.3	1,807	6.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,390百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △866百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	82.84	—
2019年3月期第3四半期	40.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	55,506	39,215	70.0
2019年3月期	48,976	36,000	72.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 38,827百万円 2019年3月期 35,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭

2020年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△8.6	1,600	△15.6	2,000	△17.2	3,700	119.8	84.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	60,000,000株	2019年3月期	60,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	16,294,798株	2019年3月期	15,737,398株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	43,816,682株	2019年3月期3Q	44,662,602株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな景気回復基調が続く中、高額商材を中心としたインバウンド需要は増加傾向にあり、個人消費や消費マインドも緩やかに改善しているものの、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題の影響など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましては、消費増税の反動、消費者の衣料品に関する購買行動の多様化と依然として根強い節約志向により、総じて厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、将来の企業成長への積極的な布石を打ち、また主力ブランドである「DAKS」のブランド価値を極大化すべく様々な戦略を実施し、利益追求に努めておりますが、当第3四半期連結累計期間は、国内外とも市場環境は一層厳しさが増しており、前年同期比では減収、営業利益、経常利益ともに減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比10.5%減の18,105百万円、営業利益は前年同期比19.0%減の1,495百万円、経常利益は前年同期比16.6%減の1,984百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益を特別利益に計上したことで前年同期比100.8%増の3,629百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

国内事業は、「DAKS」「LEONARD」のブランド価値向上のため、顧客ファースト、商品クオリティの追求を最優先し、経営効率を重視する事業構造改革を推し進めております。当第3四半期連結累計期間におきましては、同ブランドを百貨店等に販売する国内子会社では、不採算店からの撤退、営業在庫の圧縮をすすめておりますが、百貨店の店頭不振に加え、自然災害や天候不順などのマイナス要素も重なり減収減益となりました。また、ライセンス事業におきましても、一部のサブライセンスとの契約において収益の計上時期の変更などがあり、前期比較では減収減益となり、結果として国内事業全体としましては、減収減益となりました。

海外事業は、国内の経営環境の変化に対応すべく、グローバルな事業展開を積極的に推し進めております。中国市場におきましては、「DAKS」の販路拡大のため、上海の旗艦店をリニューアルオープンし、5店舗を新たに出店するなど、積極的なショッピング展開をすすめてまいりました。香港、マカオ、台北の小売事業におきましては、香港のデモの長期化など政治的な背景が大きく影響し、店舗ごとの収益性の見直しやブランドの付加価値の向上には努めましたが、減収減益となり、結果として海外事業全体としましては、減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比11.7%減の8,974百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比29.9%減の967百万円となりました。

② 繊維関連事業

アパレル企業向けのOEM事業は、依然として厳しい市況が続く受注競争が加速する中、販売面におきましては企画提案力の強化、付加価値の高い商品開発に注力し、また生産面におきましては更なる品質向上を目指し、商品の安定供給に努めることで、重点得意先との取組拡大を目指しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、百貨店アパレルを中心として、取引先がブランド戦略の見直しや生産数量の抑制を図るなどの構造改革をすすめていることが大きく影響し受注減となり、物流などの生産面の効率化、経費の削減などの収益性の向上に努めましたが、減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比12.5%減の7,949百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比10.2%減の232百万円となりました。

③ 不動産関連事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸などの不動産に係る賃貸事業は、大阪サンライズビルの稼働率の向上、内装工事業等の増加などがあり、増収増益となりました。当事業全体の売上高は前年同期比7.5%増の1,861百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比7.2%増の543百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて3,428百万円(18.6%)増加し、21,865百万円となりました。これは、現金及び預金が3,422百万円増加、商品及び製品が250百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が178百万円減少したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて3,102百万円(10.2%)増加し、33,641百万円となりました。これは、IFRS適用在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」を適用したことにより使用権資産が2,420百万円増加、投資有価証券が1,151百万円増加した一方で、建物及び構築物(純額)が359百万円減少したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,123百万円(14.9%)増加し、8,641百万円となりました。これは、未払法人税等が926百万円増加、IFRS適用在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」を適用したことなどによりリース債務が350百万円増加した一方で、未払費用が332百万円減少したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて2,191百万円(40.2%)増加し、7,649百万円となりました。これは、IFRS適用在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」を適用したことなどによりリース債務が1,958百万円増加、繰延税金負債が313百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて3,215百万円(8.9%)増加し、39,215百万円となりました。これは、利益剰余金が2,744百万円増加、その他有価証券評価差額金が793百万円増加した一方で、純資産から控除している自己株式が285百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年11月5日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,323	13,746
受取手形及び売掛金	4,861	4,683
商品及び製品	3,015	3,266
仕掛品	6	9
原材料及び貯蔵品	5	6
未収還付法人税等	—	29
その他	379	276
貸倒引当金	△156	△153
流動資産合計	18,436	21,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,457	7,098
使用権資産（純額）	—	2,420
土地	3,149	3,065
その他（純額）	534	635
有形固定資産合計	11,141	13,219
無形固定資産		
商標権	4,208	4,164
その他	233	190
無形固定資産合計	4,441	4,355
投資その他の資産		
投資有価証券	14,355	15,506
退職給付に係る資産	8	8
その他	607	565
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	14,956	16,066
固定資産合計	30,539	33,641
資産合計	48,976	55,506

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,932	2,961
短期借入金	2,820	2,820
リース債務	31	382
未払費用	990	657
未払法人税等	211	1,138
その他	532	681
流動負債合計	7,518	8,641
固定負債		
リース債務	82	2,041
繰延税金負債	3,982	4,296
退職給付に係る負債	513	495
その他	878	816
固定負債合計	5,457	7,649
負債合計	12,975	16,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,168	6,168
利益剰余金	27,239	29,983
自己株式	△5,698	△5,984
株主資本合計	30,709	33,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,008	7,802
繰延ヘッジ損益	0	5
為替換算調整勘定	△2,107	△2,162
退職給付に係る調整累計額	13	14
その他の包括利益累計額合計	4,914	5,659
非支配株主持分	376	387
純資産合計	36,000	39,215
負債純資産合計	48,976	55,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	20,225	18,105
売上原価	12,175	10,770
売上総利益	8,049	7,335
販売費及び一般管理費	6,203	5,839
営業利益	1,845	1,495
営業外収益		
受取利息	4	10
受取配当金	522	522
為替差益	14	25
その他	50	25
営業外収益合計	592	583
営業外費用		
支払利息	15	52
店舗等除却損	26	14
その他	17	28
営業外費用合計	58	95
経常利益	2,379	1,984
特別利益		
固定資産売却益	—	3,172
投資有価証券売却益	7	—
特別利益合計	7	3,172
特別損失		
特別退職金	—	25
減損損失	12	—
特別損失合計	12	25
税金等調整前四半期純利益	2,374	5,131
法人税、住民税及び事業税	490	1,476
法人税等調整額	67	9
法人税等合計	558	1,486
四半期純利益	1,816	3,645
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,807	3,629

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	1,816	3,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,420	793
繰延ヘッジ損益	9	4
為替換算調整勘定	△272	△54
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	△2,683	745
四半期包括利益	△866	4,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△875	4,374
非支配株主に係る四半期包括利益	8	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、有形固定資産の使用権資産が2,420百万円増加、流動負債のリース債務が352百万円増加、固定負債のリース債務が1,980百万円増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,144	8,540	1,540	20,225	—	20,225
セグメント間の内部売 上高又は振替高	21	545	191	758	△758	—
計	10,165	9,085	1,732	20,983	△758	20,225
セグメント利益	1,379	258	506	2,144	△299	1,845

(注) 1. セグメント利益の調整額△299百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△309百万円及びセグメント間取引消去等10百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業		
減損損失	12	—	—	—	12

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,961	7,474	1,669	18,105	—	18,105
セグメント間の内部売 上高又は振替高	12	475	191	680	△680	—
計	8,974	7,949	1,861	18,786	△680	18,105
セグメント利益	967	232	543	1,743	△247	1,495

(注) 1. セグメント利益の調整額△247百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△338百万円及びセグメント間取引消去等90百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

当社は、当社の英国における完全子会社であるDAKS SIMPSON LIMITED (2019年9月30日付でSAN EAST UK PLCから商号を変更しております)、DAKS SIMPSON GROUP LIMITED (2019年9月20日付でDAKS SIMPSON GROUP PLCから商号を変更しております) 及びDAKS LIMITEDの再編を行うため、2019年12月2日付でDAKS LIMITEDの事業のすべてをDAKS SIMPSON GROUP LIMITEDに譲渡したうえで、同日付でDAKS SIMPSON GROUP LIMITEDの事業のすべてをDAKS SIMPSON LIMITEDに譲渡いたしました。

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称およびその事業の内容

事業の名称：当社の連結子会社であるDAKS LIMITEDのファッション製品販売事業

事業の内容：ファッション製品の販売事業

事業の名称：当社の連結子会社であるDAKS SIMPSON GROUP LIMITEDのファッション製品の企画、生産、販売及びライセンス事業

事業の内容：ファッション製品の企画、生産、販売及びライセンス事業

(2) 企業結合日

2019年12月2日

(3) 企業結合の法的形式

DAKS LIMITEDを譲渡会社、DAKS SIMPSON GROUP LIMITEDを譲受会社とする事業譲渡及びDAKS SIMPSON GROUP LIMITEDを譲渡会社、DAKS SIMPSON LIMITEDを譲受会社とする事業譲渡

(4) その他取引の概要に関する事項

当社グループの英国における事業の効率化及び迅速な意思決定を行うため事業譲渡いたしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。